

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	膜性腎症における半月体形成機序の解明		
1. 研究の目的と方法	膜性腎症（MN）は成人、とくに高齢者に多い腎臓病で、ネフローゼ症候群の主な原因です。大量のタンパク尿を特徴としますが、通常は血尿や炎症は目立ちません。病変は糸球体に免疫複合体が沈着し、糸球体基底膜が肥厚することで生じます。 MNは炎症の少ない疾患とされてきましたが、まれに「半月体」という強い炎症に伴う病理変化がみられることがあります。半月体は通常、急性の腎障害で現れますが、MNでも発生する理由は十分に解明されていません。 近年、この現象にはポウマン囊上皮細胞（PECs）の活性化と増殖が関わっている可能性が示されています。本研究では、東京慈恵会医科大学附属病院で診断されたMN症例の中から半月体を伴うケースを分析し、PECsの変化や免疫複合体の分布を免疫染色で調べ、MNにおける半月体形成の仕組みを明らかにすることを目指します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2009年4月1日～2025年6月30日までの期間に、慈恵会医科大学附属病院で腎生検が施行され、膜性腎症と診断された症例のうち、腎病理所見として半月体形成を認める方を中心に解析しますが、膜性腎症と診断され、半月体形成を認めない症例も比較対象として用います。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検組織	
	(2) 試料の取得の方法	既に採取・保存された腎生検組織の一部を使用します	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液尿検査、画像検査、腎生検所見）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座
		氏名	岡林 佑典
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 研究責任者：岡林 佑典（おかばやし ゆうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3232） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：30	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。